

第 2 回 避難対策小会議の項目

(1) 防災計画と避難計画

| 項目 | 〈1〉 避難計画も原子力規制委員会が審査すべきではないか |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 島根県の考え | <p>福島第一原子力発電所事故が起こり従来の原子力防災について多くの問題点が明らかになったことから、国は、自治体等が原子力災害対策に係る計画を策定する際の科学的、客観的判断を支援するため、原子力災害時の避難等に係る専門的・技術的事項等について定めた「原子力災害対策指針」を平成 24 年 10 月 31 日に新たに策定しました。</p> <p>また、その後も新たな知見等を踏まえ、8 回の全面改正を行っています。</p> <p>島根県でもそれを受け、地域防災計画（原子力災害対策編）や広域避難計画を策定・改正するなど必要な対応を行ってきました。</p> <p>避難計画を原子力規制委員会が認可することを想定した場合、避難先や避難経路等が記載された計画が策定されれば良いのか、それに基づく訓練を数回行っていけば良いのかなど、具体的な審査基準の設定が難しいと考えられます。</p> <p>また、一定の基準さえ満足すれば良いとの考えなどにより、不断の見直しや改善を図る取り組みを阻害する可能性もあります。</p> <p>このことから、国が法的に認可する枠組みは難しいと考えられます。</p> <p>さらに、原子力災害時の避難計画は、地域の実情を熟知している自治体と専門的な知見を持つ国が一体となって策定していますので、国が避難計画を法的に認可することは、適切ではないと考えます。</p> <p>【別添資料①】 地域防災計画策定の経過</p> <p>【別添資料②】 広域避難計画の策定に関する主な経過</p> |

策定の経過

| | |
|-------------|--------------------------------------------------------------|
| 昭和38年6月 | 島根県地域防災計画（以下「県防災計画」という）作成 |
| 昭和45年 | 第7次修正（放射性物質放出災害予防関連を挿入） |
| 昭和48年4月 | 第10次修正（原子力防災関連について現行体系（S55）に修正） |
| 昭和54年6月1日 | 島根県防災会議で「原子力災害関連」の見直し検討を原子力防災部会に附託 |
| 昭和54年6月12日 | 県防災計画を補完運用するものとして原子力発電所防災対策暫定取扱要綱（以下「暫定取扱要綱」という。）を決定 |
| 昭和54年6月14日 | 島根県防災会議原子力防災部会開催（暫定取扱要綱の説明） |
| 昭和55年7月31日 | 中央防災会議会長から島根県防災会議会長に「原子力発電所等周辺の防災対策について」（以下「防災対策報告書」という。）が送付 |
| 昭和55年8月5日 | 島根県防災会議原子力防災部会開催（防災対策報告書の説明） |
| 昭和55年12月24日 | 島根県防災会議原子力防災部会開催（原子力防災計画案の審議・承認） |
| 昭和56年2月12日 | 原子力防災計画案の決定運用（県防災会議会長）災対法第40条に基づく内閣総理大臣協議 |
| 昭和56年5月8日 | 内閣総理大臣から同法同条に基づく修正協議に対する承認通知 |
| 昭和56年6月30日 | 島根県防災会議で原子力防災計画を正式決定 |
| 昭和58年3月25日 | 第1次修正〔島根県地域防災計画（原子力災害編）に名称変更〕 |
| 昭和59年4月10日 | 第2次修正（但し、附属資料編のみ） |
| 昭和60年4月18日 | 第3次修正 |
| 昭和62年5月 | 第4次修正 |
| 昭和63年5月 | 第5次修正 |
| 平成元年8月 | 第6次修正 |
| 平成6年4月5日 | 災対法第40条に基づく内閣総理大臣協議 |
| 平成6年5月18日 | 内閣総理大臣から同法同条に基づく修正協議に対する承認通知 |
| 平成6年5月 | 第7次修正 |
| 平成7年5月 | 第8次修正 |
| 平成11年3月 | 第9次修正 |
| 平成12年3月 | 第10次修正 |
| 平成13年5月 | 第11次修正【→別紙1参照】 |
| 平成16年3月 | 第12次修正（機構改革等に伴う修正） |
| 平成18年11月1日 | 災対法第40条に基づく内閣総理大臣協議 |
| 平成19年1月22日 | 内閣総理大臣から同法同条に基づく修正協議に対する承認通知 |
| 平成19年1月 | 第13次修正（機構改革、緊急時モニタリングマニュアル策定に伴う当該マニュアルとの記述内容統一に伴う修正等） |
| 平成22年6月 | 第14次修正 |
| 平成25年2月 | 第15次修正〔島根県地域防災計画（原子力災害対策編）に名称変更〕 【→別紙2参照】 |
| 平成26年3月 | 第16次修正【→別紙3参照】 |
| 平成28年3月 | 第17次修正【→別紙4参照】 |
| 平成29年10月 | 第18次修正【→別紙5参照】 |
| 平成31年3月 | 第19次修正【→別紙6参照】 |

平成13年5月 第11次修正

【経緯】

- 平成11年9月30日 ウラン加工施設JCO東海事業所で臨界事故発生
- 平成11年12月17日 「原子力災害対策特別措置法」制定
- 平成12年5月29日 国の原子力安全委員会が「原子力施設等の防災対策について」（通称：防災指針）を改訂
- 平成12年5月30日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
- 平成12年6月16日 「原子力災害対策特別措置法」施行
- 平成12年6月29日 国の関係3庁が「地域防災計画（原子力防災対策関係）作成マニュアル」を改訂
- 平成13年1月30日 島根県防災会議幹事会開催（修正案の審議・承認）
- 平成13年3月27日 島根県防災会議において県防災計画（原子力災害編）の全面修正を決定
- 平成13年3月30日 災対法第40条に基づく内閣総理大臣協議
- 平成13年5月15日 内閣総理大臣から同法同条に基づく修正協議に対する承認通知

【内容】

- 1 原子力災害対策特別措置法の制定に伴う修正
 - ・国と自治体の連携強化
 - ・事業者責務の明確化
 - ・オフサイトセンターの整備
- 2 県の防災体制の見直し
 - ・初期対応の迅速化
 - ・緊急時モニタリング体制の強化
 - ・広域的な応援体制の整備
 - ・防災業務関係者の安全確保
 - ・原子力防災訓練の充実
- 3 住民対応の充実
 - ・情報伝達体制の充実
 - ・災害弱者に対する配慮
 - ・住民からの問い合わせ対応

平成25年2月

第15次修正

【経緯】

- 平成23年3月11日 東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所事故発生
- 平成24年6月20日 原子力規制委員会設置法成立（改正原子力災害対策特別措置法含む）
- 平成24年9月6日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
- 平成24年9月19日 原子力規制委員会発足
- 平成24年10月31日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を策定
- 平成24年12月12日 原子力規制委員会が「地域防災計画（原子力防災対策関係）作成マニュアル」を改訂
- 平成25年2月21日 島根県防災会議において県防災計画（原子力災害編）の修正を決定
- 平成25年4月4日 災対法第40条に基づく内閣総理大臣報告

【内容】

- 1 国の防災基本計画（原子力災害対策編）の修正に伴う修正
 - (1) 大規模広域災害対策
災害に対する即応力の強化、被災者への対応改善、教訓伝承・防災教育の強化等による地域の防災力の向上
 - (2) 原子力災害対策
原子力災害対策重点区域（PAZ、UPZ）の設定、情報の収集・連絡体制等の整備（防災拠点間におけるネットワーク強化）、災害応急体制の整備（広域的な応援協力体制の拡充・強化）、避難収容活動体制の整備（広域避難計画の策定）
- 2 県独自の修正
 - (1) 隣接している鳥取県等との連携を明記
情報収集・連絡体制等整備、災害応急体制整備（オフサイトセンター立ち上げ等）、避難計画作成、防災訓練等の実施
 - (2) 県の防災体制を強化
警戒事象発生時などの際に危機管理監が認めた時に設置する対策会議の構成員を見直し、初動から適切な対応ができるよう体制を強化
- 3 その他の修正
国及び県の組織改編及び事務移管等に伴う修正、記述内容の統一、現状に即した見直し（損害調査項目の削除）

平成26年3月

第16次修正

【経緯】

- 平成25年2月27日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
平成25年6月5日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
平成25年9月5日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
平成26年1月17日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
平成26年3月19日 島根県防災会議において県防災計画（原子力災害対策編）の修正を決定
平成26年3月24日 災対法第40条に基づく内閣総理大臣報告

【内容】

- 国の防災基本計画（原子力災害対策編）及び原子力災害対策指針の修正に伴う修正
- (1) 原子力災害対策重点区域（発電所から概ね30km圏内）における防護措置の実施
P A Z 及びU P Zそれぞれにおける避難準備、屋内退避、避難等の対応を規定
 - (2) 原子力発電所の状態に基づく判断基準（E A L）の設定
原子力災害発生時における発電所の状況に応じた区分（警戒事態、施設敷地緊急事態、
全面緊急事態）を設定し、それぞれの区分に応じた住民への対応、モニタリング等の
実施すべき措置を規定
 - (3) 空間放射線量率等に基づく防護措置実施基準（O I L）の設定
空間放射線量率等に応じたレベルを設定し、避難、一時移転等の措置を規定
 - (4) 緊急時モニタリング体制の見直し
新しく国の統括のもと、県、市、中国電力株が連携した組織（緊急時モニタリングセ
ンター）を規定
 - (5) 安定ヨウ素剤の予防服用体制の整備
緊急時における住民等への安定ヨウ素剤服用に係る体制及び事前配布等の必要な措置
等を規定

平成28年 3 月

第17次修正

【 経 緯 】

- 平成26年11月28日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
平成27年 3 月31日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
平成27年 4 月22日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
平成27年 7 月 7 日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
平成27年 8 月26日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
平成28年 2 月16日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
平成28年 3 月16日 島根県防災会議において県防災計画（原子力災害対策編）の修正を決定
平成28年 3 月28日 災対法第40条に基づく内閣総理大臣報告

【 内 容 】

国の防災基本計画（原子力災害対策編）及び原子力災害対策指針の修正に伴う修正

(1) 地域原子力防災協議会の設置について記載

- ① 地域原子力防災協議会における「緊急時対応」の確認
- ② 緊急時対応に基づく訓練の実施、訓練結果からの反省点の抽出、改善措置の実施等継続的な防災体制の充実

(2) 医療体制の見直し

- ① 従来の「被ばく医療体制」から「原子力災害医療体制」に見直し
(例：「原子力災害拠点病院」等の施設要件を定めるとともに名称も変更)
- ② 原子力災害と自然災害等の複合災害が発生した場合に地域の災害医療関係者が一体となって対応できるよう、県災害対策本部に「原子力災害医療調整官」を設置

(3) 国の原子力防災体制の組織見直し

国の事故警戒本部、事故対策本部を原子力規制委員会と内閣府が合同で設置することとし、住民防護の総合調整等を合同で行うよう変更

(4) その他

- ① 30km圏外における防護措置（屋内退避）を追記
- ② 防護措置の判断において、SPEED I による拡散予測計算結果は活用しないこととされたことから関係規定を削除
- ③ 各種字句修正（スクリーニング→避難退域時検査 等）

平成29年10月

第18次修正

【経緯】

- 平成28年5月31日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
平成29年3月22日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
平成29年4月11日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
平成29年7月5日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
平成29年10月10日 島根県防災会議において県防災計画（原子力災害対策編）の修正を決定
平成29年11月17日 災対法第40条に基づく内閣総理大臣報告

【内容】

国の防災基本計画（原子力災害対策編）及び原子力災害対策指針の修正並びに近年の県の取組を踏まえた修正

(1) 熊本地震を踏まえた屋内退避方法の見直し

自然災害により自宅等で屋内退避できない場合には、近隣又は地震等の影響のない避難所等へ避難させるなど状況に応じ柔軟に対応

(2) 「島根県原子力災害業務継続計画」の策定に伴う応急業務の整理等

- ① 原子力災害時の応急業務及び動員体制を規定
- ② 災害対策本部事務局の体制を強化
- ③ 県庁舎等が所在する地区に避難等の指示が出された場合の移転先を規定
- ④ 原子力防災業務に従事する者の研修等を実施
- ⑤ 専門的知識を持つ職員が多数必要となる緊急時モニタリング業務について、県の化学職採用職員を中心とした動員体制を整備

平成31年 3月 第19次修正

【経緯】

- 平成30年 6月29日 国の中央防災会議が「防災基本計画」原子力災害対策編を修正
- 平成30年 7月25日 国の原子力規制委員会が原子力災害対策指針を改正
- 平成31年 3月15日 島根県防災会議において県防災計画（原子力災害対策編）の修正を決定
- 平成31年 3月22日 災対法第40条に基づく内閣総理大臣報告

【内容】

国の防災基本計画（原子力災害対策編）及び原子力災害対策指針の修正に伴う修正

(1) 島根原子力発電所 1号炉に係る原子力災害対策重点区域の変更

1号炉に係る原子力災害対策重点区域について「PAZ：概ね5km圏内、UPZ：概ね30km圏内」から「PAZ：なし、UPZ：概ね5km圏内」へ変更

(2) その他

- ① 情報収集事態において国に設置される組織名称の変更
- ② 警戒事態（松江市で震度6弱等）において、国から関係地方公共団体に対する避難準備要請等の発出方法の変更
- ③ 原子力災害対策の目標に係る記述について、国際的な考え方と整合 等

出典：島根県地域防災計画（原子力災害対策編）

＜広域避難計画の策定に関する主な経過＞

| | | |
|-------|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 平成23年 | 5月 | 原子力防災連絡会議を設置 |
| | 9月 | 原子力防災連絡会議中間報告を取りまとめ |
| | 10月 | 避難施設調査を依頼（県内） |
| 平成24年 | 11月 | 中国地方知事会で広域避難受け入れを協力要請 山陽各県市町村への説明会を開催 避難収容可能施設確認調査を依頼（山陽各県） |
| | 1月 | 島根県議会総務委員会で避難収容可能施設確認調査結果を報告 |
| | 2月 | 避難先地域割当案を策定 |
| 平成25年 | 4月～ | 中国各県、避難先市町村と受入調整 |
| | 9月 | 国の防災基本計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| | 10月 | 避難受入を正式に要請 国の原子力災害対策指針策定 |
| | 11月 | 広域避難計画の策定 |
| | 2月 | 国の原子力災害対策指針改正 島根県地域防災計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| 平成26年 | 6月 | 国の原子力災害対策指針改正 |
| | 9月 | 国の原子力災害対策指針改正 |
| | 1月 | 国の防災基本計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| 平成27年 | 3月 | 島根県地域防災計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| | 5月 | 岡山県、広島県との広域避難に関する協定の締結 |
| | 11月 | 国の防災基本計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| 平成28年 | 3月 | 国の防災基本計画（原子力災害対策編）一部修正 島根県地域防災計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| | 4月 | 国の原子力災害対策指針改正 |
| | 7月 | 国の防災基本計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| | 8月 | 国の原子力災害対策指針改正 |
| 平成29年 | 3月 | 島根県地域防災計画（原子力災害対策編）一部修正 |
| | 3月 | 広域避難計画 一部修正 |

出典：原子力災害に備えた島根県広域避難計画

| 項目 | 〈2〉 避難計画の実効性はどのように確認するのか |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 島根県の考え | <p>避難対策の実効性については、計画に必要な内容が盛り込まれているかどうかということと、避難が計画通りに実行できるかという二つの面があると考えています。</p> <p>島根県では避難計画の具体化、充実化を図るため、以下のような取組を進めてきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内と岡山・広島両県の受入市町村の了解を得て、具体的な避難先や避難ルートをあらかじめ地区ごとに設定 ・ 避難手段の確保のため、中国5県のバス、タクシー協会と協定を締結し、運転手の被ばく線量管理をすることとしたうえで、防護服等の資機材を整備 ・ 避難行動要支援者の屋内退避のため、放射線防護対策設備を原発近隣の入所社会福祉施設や医療施設に整備 <p>こうした取組を踏まえ、県外避難や放射性物質による住民の汚染状況の検査体制の確保を含めて、実働の訓練を行い、実効性の向上のため様々な取組を進めてきました。</p> <p>なお、国は、島根地域全体の避難計画である「緊急時対応」について、国と2県6市で構成する「島根地域原子力防災協議会」で取りまとめ、内閣総理大臣が議長となる「原子力防災会議」で了承する仕組みとしています。</p> <p>この原子力災害時の避難対策全般については、島根地域原子力防災協議会の「作業部会」で、計画の具体化・充実化を進めることとしており、今後も国などの関係機関と相談しながら引き続き検討を行っていきます。</p> <p>【別添資料③】 島根県原子力防災訓練の実施状況</p> |

島根県原子力防災訓練の実施状況

別添資料③

| | 実施日 | 参加機関／参加者数 | 訓練項目 |
|-----|----------------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 昭和57年 4月27日(火) 8:55～12:20 | 14機関 443名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・対策会議の設置訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 |
| 第2回 | 昭和61年 11月12日(水) 8:40～12:20 | 14機関 545名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 ・立入制限等措置訓練 ・緊急時医療活動訓練 |
| 第3回 | 平成元年 1月20日(金) 8:30～12:30 | 15機関 629名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限等措置訓練 ・緊急時医療活動訓練 |
| 第4回 | 平成2年 10月17日(水) 8:30～13:30 | 22機関 675名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限等措置訓練 ・避難等措置訓練 ・緊急時医療活動訓練 ・飲食物給与措置訓練 |
| 第5回 | 平成4年 11月10日(火) 8:30～13:00 | 24機関 798名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限等措置訓練 ・避難等措置訓練 ・緊急時医療活動訓練 ・飲食物給与措置訓練 ・災害救助法適用申請訓練 |
| 第6回 | 平成6年 11月8日(火) 8:30～13:00 | 24機関 843名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限等措置訓練 ・避難等措置訓練 ・緊急時医療活動訓練 ・飲食物給与措置訓練 ・災害救助法適用申請訓練 |

| | 実施日 | 参加機関／参加者数 | 訓練項目 |
|----------------------------|----------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第7回 | 平成8年 11月6日(水) 8:30～13:00 | 24機関 983名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限等措置訓練 ・避難等措置訓練 ・緊急時医療活動訓練 ・飲食物給与措置訓練 ・災害救助法適用申請訓練 ・住民参加避難訓練 ・防災ヘリコプター出動訓練 ・ヨウ素剤搬送訓練 |
| 第8回 | 平成10年 11月5日(木) 8:30～13:00 | 25機関 2,027名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時環境モニタリング訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限等措置訓練 ・避難等措置訓練 ・緊急時医療活動訓練 ・飲食物給与措置、搬送訓練 ・災害救助法適用申請訓練 ・住民・学校参加避難訓練 ・防災ヘリコプター出動訓練 ・ヨウ素剤搬送訓練 |
| 第9回 (国との 合同総 合訓練) | 平成12年 10月28日(土) 8:00～16:00 | 83機関 1,900名 | <p>(1)国、地方自治体及び原子力事業者共通の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・原子力災害合同対策協議会運営訓練 <p>(2)国が主体となって行った訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力緊急事態宣言発出訓練 ・原子力災害対策本部運営訓練 ・原子力災害現地対策本部要員等派遣訓練 ・原子力災害現地対策本部運営訓練 <p>(3)地方自治体が主体となって行った訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部等設置運営訓練 ・住民の避難 ・屋内退避、避難所開設訓練 ・自衛隊、警察、消防等による避難誘導、緊急輸送訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急時医療活動訓練 ・立入制限、交通規制等措置訓練 ・広報活動訓練 |

| | 実施日 | 参加機関／参加者数 | 訓練項目 |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第10回 (個別訓練) | 平成13年 11月7日(水) 8:30～17:00 | 17機関 約400名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部の設置運営訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・避難等措置訓練（学校の避難訓練） ・緊急被ばく医療訓練 ・防災資機材の点検・取扱訓練 |
| 第11回 (総合訓練) | 平成14年 11月8日(金) 7:50～16:05 | 50機関 約8,500名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・災害対策本部等設置運営訓練 ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・住民の避難・屋内退避・避難所開設訓練 ・学校における避難訓練 ・緊急被ばく医療訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限・交通規制等措置訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 ・災害弱者対応訓練 |
| 第12回 (個別訓練) | 平成16年 1月23日(金) 8:30～16:30 | 28機関 約8,300名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療訓練 ・防災ヘリによる救急搬送訓練 ・避難等措置訓練（学校の避難訓練） ・原子力防災資機材取扱訓練 |
| 第13回 (総合訓練) | 平成16年 10月8日(金) 8:00～14:00 | 56機関 約6,200名 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時通信連絡訓練 ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・災害対策本部設置運営訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療訓練 ・住民の避難等措置訓練 ・学校・幼稚園の避難等措置訓練 ・緊急時要支援者の避難等措置訓練 ・広報活動訓練 ・立入制限・交通規制等措置訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |
| 第14回 (個別訓練) | 平成17年 11月17日(木) 7:00～16:00 ※オフサイトセンター 運営訓練は、平成17年 9月8、9日に実施 | 41機関 約6,700名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練 ・防災ヘリによる要員搬送訓練 ・住民の避難措置等訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・原子力防災研修 ・原子力防災資機材取扱訓練 ・オフサイトセンター機能班訓練 |

| | 実施日 | 参加機関／参加者数 | 訓練項目 |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第15回 (総合訓練) | 平成19年 1月30日(火) 7:00～14:00 | 49機関 約6,500名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・災害対策本部設置運営訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練 ・住民の避難等措置訓練 ・学校・幼稚園の避難等措置訓練 ・災害時要援護者の避難等措置訓練 ・広報活動訓練 ・防災へりによる救急搬送訓練 ・防災へりによる救急搬送通信訓練 ・立入制限・交通規制等措置訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |
| 第16回 (総合訓練) 島根県国民 保護共同訓 練の中で実 施 | 平成19年 11月2日(金) 7:00～14:00 | 79機関 約1,180名 ※参加者の集計方法が 異なっているため、参 加者数が少なく計上さ れている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・緊急対処事態対策本部設置運営訓練 ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・緊急搬送等訓練 ・住民等避難訓練 ・救援等訓練 ・緊急時モニタリング訓練 |
| 第17回 (個別訓練) | 平成20年 10月28日(火) 8:30～17:00 ※「オフサイトセンター 活動訓練」は、10月9、 10日に、「緊急被ばく医 療関係者研修」は、10月 4日に実施。 | 75機関 約7,900名 ※参加機関について、学校 を個別に計上しているた め機関数が増加している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練(緊急被ばく医療関係者研修、安定ヨウ素剤内服液調剤訓練、救急搬送訓練) ・住民の避難措置等訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・災害時要援護者の避難措置等訓練 ・オフサイトセンター活動訓練 |
| 第18回 (総合訓練) | 平成21年 11月13日(金) 7:00～14:00 | 73機関 約6,500名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・災害対策本部設置運営訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練 ・住民の避難等措置訓練 ・学校等の避難等措置訓練 ・災害時要援護者の避難等措置訓練 ・広報活動訓練 ・救急搬送訓練 ・自衛隊へりによる救急搬送・通信訓練 ・立入制限、交通規制等措置訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |

| | 実施日 | 参加機関／参加者数 | 訓練項目 |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第19回 (個別訓練) | 平成23年 1月19日(水) 8:30～16:00 ※「オフサイトセンター 活動訓練」は、12月 14,15日に実施。 | 75機関 約6,700名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練(緊急被ばく医療スクリーニング等訓練、救急患者搬送・通信連絡訓練) ・住民の避難措置等訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・災害時要援護者の避難措置等訓練 ・オフサイトセンター活動訓練 |
| 第20回 (個別訓練) | 平成24年 2月16日(木) 8:00～16:30 ※「初動対応研修」は、 1月25日に実施。 | 30機関 約2,300名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練 ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・緊急物資輸送訓練 |
| 第21回 (個別訓練) | 平成25年 1月26日(土) 7:00～15:30 ※「原子力防災実務者研 修・原子力緊急時対応演 習」は、12月17,18日に 実施。 | 約90機関 約3,100名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練(汚染等を伴う救急患者搬送・医療処置等訓練、安定ヨウ素剤調製訓練) ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・住民の避難措置等訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・社会福祉施設(入所施設)等の避難措置等訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 ・避難誘導、交通規制等訓練 |
| 第22回 (個別訓練) | 平成25年 11月5日(火) 8:30～14:30 及び 11月10日(日) 7:00～16:10 | 約100機関 約3,600名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・緊急時モニタリング訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練 ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・住民の避難措置等訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・要援護者の避難措置等訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 ・避難誘導、交通規制等措置訓練 |
| 第23回 (個別訓練) | 平成26年 10月18日(土) 7:00～17:00 | 約94機関 約3,150名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練(緊急時通信連絡訓練) ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・住民の避難措置等訓練 ・スクリーニング訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・避難行動要支援者の避難措置等訓練 ・避難誘導、交通規制等措置訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |

| | 実施日 | 参加機関／参加者数 | 訓練項目 |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第24回 (個別訓練) | 平成27年 10月23日(金) 8:30～15:00 及び 10月25日(日) 8:00～17:00 | 約108機関 約2,800名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練（緊急時通信連絡訓練） ・オフサイトセンター設置運営訓練 ・住民の避難措置等訓練 ・在宅避難行動要支援者の避難措置等訓練 ・避難退域時検査(スクリーニング)訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・庁舎放射線防護対策訓練 ・避難誘導、交通規制等措置訓練 ・緊急被ばく医療活動訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |
| 第25回 (個別訓練) | 平成28年 11月14日(月) 8:30～16:45 及び 11月19日(土) 8:00～17:15 | 約86機関 約3,050名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練（緊急時通信連絡訓練） ・住民の避難措置等訓練 ・緊急速報（エリア）メール広報訓練 ・島根県災害対策本部移転準備訓練 ・避難行動要支援者の避難措置等訓練 ・避難退域時検査訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・避難誘導、交通規制等措置訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |
| 第26回 (個別訓練) | 平成29年 11月17日(金) 8:30～13:00 及び 11月19日(日) 8:30～15:30 | 約138機関 約2,980名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練（緊急時通信連絡訓練） ・住民の避難措置等訓練 ・緊急速報（エリア）メール等広報訓練 ・広域避難通信連絡訓練 ・バスによる緊急輸送等通信連絡・実動訓練 ・避難行動要支援者の避難措置等訓練 ・避難退域時検査訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・避難誘導、交通規制等措置訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |
| 第27回 (個別訓練) | 平成30年 10月26日(金) 8:30～15:40 及び 10月30日(火) 8:30～14:00 | 約146機関 約3,030名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練（緊急時通信連絡訓練） ・オフサイトセンター運営訓練 ・住民の避難措置等訓練 ・緊急速報（エリア）メール等広報訓練 ・広域避難通信連絡訓練 ・避難行動要支援者の避難措置等訓練 ・避難退域時検査訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・自衛隊災害派遣運用訓練 |

| | 実施日 | 参加機関／参加者数 | 訓練項目 |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 28 回 (総合訓練) | 令和元年 11月8日(金) 14:00～18:50 11月9日(土) 8:30～17:30 及び 11月10日(日) 8:30～15:00 | 約 208 機関 約 7,780 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練（緊急時通信連絡訓練） ・住民の避難措置等訓練 ・緊急速報（エリア）メール等広報訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・避難行動要支援者の避難措置等訓練 ・避難退域時検査訓練 ・原子力災害医療訓練 ・緊急時モニタリング訓練 ・避難誘導・交通規制等訓練 |
| 第 29 回 (個別訓練) | 令和 2 年 10月15日(木) 9:30～11:30 10月28日(水) 8:30～12:00 及び 10月31日(土) 15:00～16:00 | 126 機関 約 2,800 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・初動対応訓練 ・緊急速報（エリア）メール等による広報訓練 ・学校等の避難措置等訓練 ・避難行動要支援者の避難措置等訓練 ・避難退域時検査会場での手順確認と感染症防止対策の検討 ・一時集結所での感染症防止対策の検討 |

出典：島根県原子力防災訓練の記録

| 項目 | 〈3〉 避難計画の実効性は数字で表すべきではないか |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 島根県の考え | <p>避難計画などは、一定の基準さえ満足すれば良いという考えでなく、不断の見直しや改善を図る取り組みを行っていくものです。</p> <p>したがって、一定の到達点を示し、それを基準とすることは適当ではないと考えます。</p> <p>また、その到達点、いわゆる基準ですが、それも人によってそれぞれの考え方があり、そもそも設定することが難しいと考えます。</p> <p>島根県では、原子力災害時の具体的な対応マニュアルやガイドライン等の策定など、実効性向上のための様々な取組を引き続き進めていきます。</p> |

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目 | <p>＜4＞ オフサイトセンターと災害対策本部の機能分担は明確に整理されているのか</p> |
| 島根県の考え | <p>オフサイトセンターは国が原子力災害対策特別措置法（以下、「原災法」と言う。）に基づき指定するものであり、原子力災害発生時に国や地方自治体等の関係機関が一堂に会し、応急対策の拠点となるものです。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 島根県原子力防災センター（オフサイトセンター） ・構造 鉄筋コンクリート造り3階建（一部4階建） ・完成 平成14年3月 ・延床面積 2,313 m² ・発電所から8.5kmの距離にあり、県庁敷地内に所在 <p>島根県では、万が一原子力災害が起きた場合は、このオフサイトセンターに職員31名（うち、緊急時モニタリング要員11名）を派遣することとしています。</p> <p>オフサイトセンターの具体的な機能は、国の「原子力災害対策マニュアル」で、8つの機能班（総括班、広報班、運営支援班、医療班、放射線班、プラントチーム、実動対処班、住民安全班）を設け、別添に記載の役割に応じた活動を行うこととされています。この他に、オフサイトセンター内には放射線測定を行う緊急時モニタリングセンターを設けることとされています。</p> <p>【別添資料④】 原子力災害合同対策協議会概念図</p> <p>また、県では災害の発生状況に応じて、知事を本部長とする災害対策本部を迅速・的確に設置・運営するよう地域防災計画に定めています。災害対策本部事務局では、最大92名の要員が参集し、8つのグループ（総務G、情報収集・整理G、広報担当G、情報通信G、原子力総務G、発電所・モニタリングG、避難調整G、避難退域時検査G）を設け、別添に記載の役割に応じた活動を行うこととしています。</p> <p>また、島根県原子力災害業務継続計画では、災害対策本部の事務局業務の他に、2,101名の職員が避難退域時検査や避難先避難元支援業務などの応急業務に従事することとしています。</p> <p>【別添資料⑤】 県災害対策本部事務局 業務分担</p> <p>このように、原子力災害時はオフサイトセンターと県災害対策本部はそれぞれの役割に応じて、相互に連携しながら対応していくこととなります。</p> |

例えば、住民避難については、

(1) オフサイトセンターでは住民安全班が

- ①避難指示、区域設定・管理に係る調整
- ②住民避難状況に係る情報収集
- ③輸送に係る調整のとりまとめ

などを行います。

(2) 県災害対策本部では避難調整グループが

- ①避難先県・市町村との受入要請・連絡調整
- ②避難住民輸送用バス等の調達・調整
- ③避難情報の提供

などを行います。

また、放射線測定については

(1) 警戒事態の段階では県モニタリング本部が設置され、県が主体となって測定等を行います。

(2) 施設敷地緊急事態以降は国がオフサイトセンターに緊急時モニタリングセンターを設置し、測定等を行います。県モニタリング本部も、緊急時モニタリングセンターに体制を移行し、国と共同で業務にあたることとなります。

一方で、令和元年度に実施したオフサイトセンター運営訓練では、訓練評価として、

(1) 警戒事態発生以降、各地方公共団体や関係機関から班員が逐次参集してきたものの、一部の班員が道路交通情報やNISS クロノロに掲載された地震被害状況を確認した以外は、要員を統制する者もなく、ほとんどの班員は特段の活動を行っていなかった。

(2) 自然災害の対応にあたる国の現地対策本部、地方公共団体の災害対策本部及びOFC間における連携のあり方並びに現地における災害応急活動を一元的に、迅速かつ円滑に実行できる体制について検討する必要がある。

(3) OFC 広報班は、具体的な活動がほとんど見られず、ERCのプレス対応訓練の状況を確認することに留まっていた。

などの指摘がありました。

また、オフサイトセンター内に設置される「原子力災害合同対策協議会」について、原災法では「原子力緊急事態に関する情報を交換」し、「相互に協力」するために組織するものと規定されており、所掌事務や権限を有する行政機関としての性格

を持つものでないとされています。

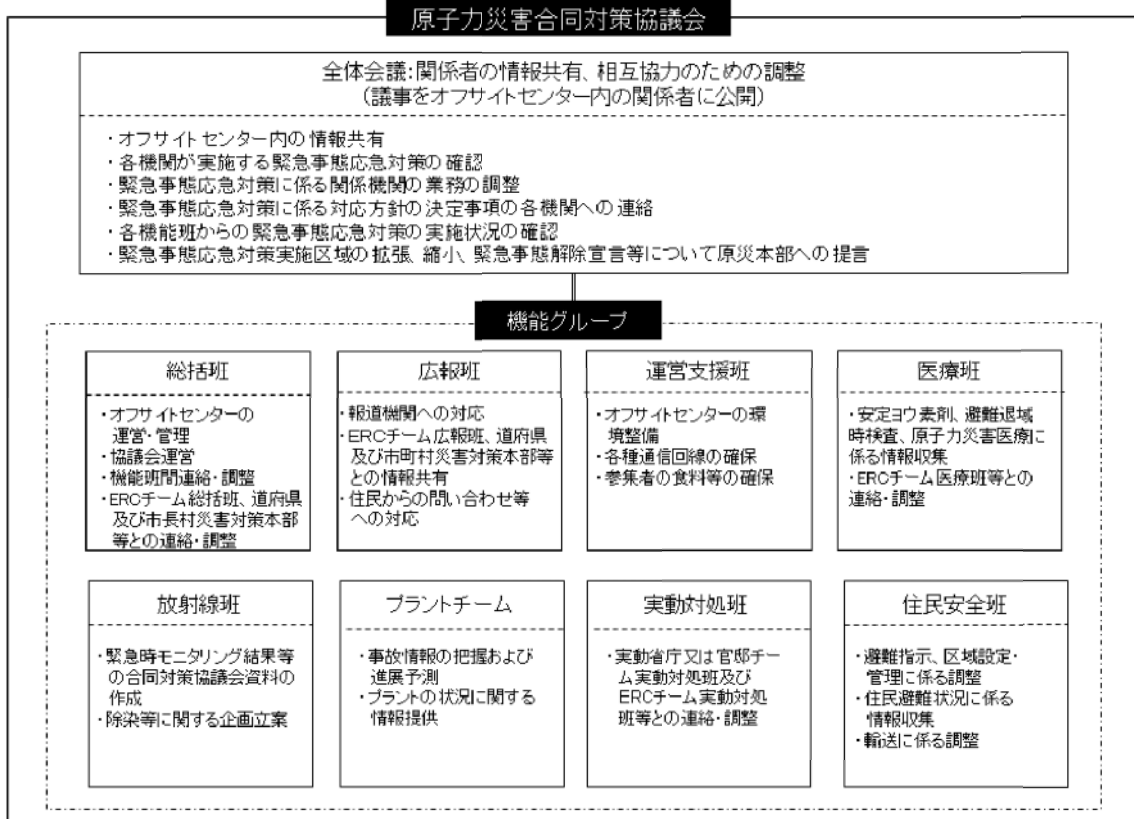
こうしたことから、原発立地地域等で構成する原子力発電関係団体協議会や全国知事会では、「オフサイトセンターについて、法令又はガイドラインに国が設置や運営主体であることを明記するとともに、機能班に配属される各職員の役割を明確にする」よう要望を行っており、今後も引き続き国に対し求めていく考えです。

県としても総合的な訓練を繰り返し行うことで、災害時の具体的な手順等について熟度を高めていく考えです。

また、県が派遣する人員の面でも、オフサイトセンターが県庁敷地内にある島根県の立地上の特性もあるため、原子力災害時には、状況に応じた的確な配置を柔軟に行いながら、両者が最大限に連携し対応していく考えです。

原子力災害合同対策協議会の概念図
 (フェーズ1から原子力災害事後対策まで)
 現地への権限委任の関係

原子力災害合同対策協議会の概念図(フェーズ1から原子力災害事後対策まで)
 現地への権限委任の関係



出典：原子力災害対策マニュアル

県災害対策本部事務局 業務分担

1 総括及び事務局長

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 総 括 防災部長 防災部次長 防災部次長（原子力安全） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局の総括 |
| 事務局長 防災危機管理課長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局の指揮監督 |

2 総括グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 消防総務課長 防災危機対策監 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務、情報収集・整理、広報担当及び情報通信グループの指揮監督 ・ 災害体制及び動員体制に関すること ・ 災害対策本部、現地災害対策本部及び本部連絡員会議に関すること |

3 原子力グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 原子力安全対策課長 原子力防災対策室長 原子力調整監 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力総務グループの指揮監督 ・ 発電所・モニタリンググループの指揮監督 ・ 避難調整グループの指揮監督 ・ 避難退域時検査グループの指揮監督 |

4 総務グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 防災危機管理第一GL 係 員 防災危機管理第一G員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害応急対策の検討・推進に関する事 ・ 防災体制（県、市町村、関係機関）の把握に関する事 ・ 市町村への指示・伝達に関する事 ・ 関係機関との連絡・調整に関する事 ・ 災害対策本部会議、会議の運営補助に関する事 ・ 会議資料原稿の作成に関する事 ・ 定期報道発表資料の作成に関する事 ・ 事務局各グループへの指示・伝達に関する事 ・ 総合防災情報システムの運用に関する事 ・ 自衛隊の災害派遣に関する事 ・ 海上保安庁への応援要請に関する事 ・ 災害救助法の適用事務に関する事 ・ 広域応援要請に関する事 |

5 情報収集・整理グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 総務保安GL 係 員 消防GL 総務保安G員 消防G員 人事課応援要員1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防機関からの情報収集に関する事 ・ 市町村からの情報収集に関する事 ・ 関係機関からの情報収集に関する事 ・ 情報の整理・表記・集約・保管に関する事 ・ ホームページ作成に関する事 ・ 緊急消防援助隊事務に関する事 ・ 防災航空管理所との連絡・調整に関する事 |

6 広報担当グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 防災危機管理第二GL 係 員 防災危機管理第二G員 統計調査課応援要員1名 財政課応援要員1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部連絡員等への連絡に関する事 ・ 関係課との連絡・調整に関する事 ・ 報道対応に関する事 ・ 会議開催補助に関する事 ・ 庁内放送（原稿作成および依頼）に関する事 ・ ホームページの更新に関する事 |

7 情報通信グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 防災通信GL 係 員 防災通信G員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災行政無線による一斉FAXに関する事 ・ 防災センターの機器の運用に関する事 ・ 映像受信及び伝送に関する事 ・ 通信統制及び防災行政無線の運用に関する事 ・ 臨時・非常通信に関する事 ・ 総合防災情報システムの保守管理に関する事 ・ 防災情報提供装置の保守に関する事 |

8 原子力総務グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 原子力総務GL 係 員 原子力総務G員 人事課応援要員2名 情報政策課応援要員3名 交通対策課応援要員4名 薬事衛生課応援要員4名 産地支援課応援要員4名 中小企業課応援要員4名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ オフサイトセンターの運営補助・連絡調整に関する事（原子力災害対策基本法第10条事象段階） ・ 放射線防護対策設備の運用に関する事 ・ 災害応急要員の調整に関する事 ・ 救援物資に関する事 ・ 輸送拠点に関する事 ・ 県庁機能の移転に関する事 ・ 職員の被ばく管理等健康管理に関する事 |

9 発電所・モニタリンググループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 原子力安全対策第1GL 原子力安全対策第2GL 係 員 安全対策第1G員 安全対策第2G員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 発電所状況・モニタリング結果に係る情報収集等に関する事 ・ 発電所状況・モニタリング結果に係る資料作成に関する事 |

10 避難調整グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 原子力防災対策室 企画幹（交通対策） 係 員 原子力防災対策室員 原子力安全対策1G員 原子力安全対策2G員 総務課応援要員3名 税務課応援要員1名 地域政策課応援要員2名 交通対策課応援要員2名 企業局総務課応援要員1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難先県・市町村との受入要請・連絡調整に関すること ・ 避難対象市との連絡調整に関すること ・ 避難住民輸送用バス等の調達・調整に関すること ・ 自衛隊等への避難者の誘導・輸送等の要請に関すること ・ 放射線防護対策施設の運用に関すること ・ 避難情報の提供に関すること |

11 避難退域時検査グループ

| 構 成 | 業 務 分 担 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 責任者 原子力防災企画GL 原子力防災対策室企画員 係 員 原子力防災対策室員 原子力安全対策第1G員 原子力安全対策第2G員 土木総務課応援要員1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難退域時検査の実施に関すること ・ 中国電力その他関係機関（自衛隊、放射線技師会等）への要員派遣の要請等に関すること |

出典：島根県災害対策本部事務局運営マニュアル

| 項目 | <p>＜5＞ 原子力災害時に行政職員が対応するためにどのような取り組みを行っているのか</p> |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>島根県の考え</p> | <p>国、県、市等は、それぞれの機関において、あらかじめ非常参集職員の名簿や参集基準等を策定し、非常時の体制を整備しています。</p> <p>このうち、島根県では、平成 29 年 10 月に「島根県原子力災害業務継続計画」を策定しています。</p> <p>本計画では、事態ごとに行うべき業務や動員体制のほか、県庁等が所在する地区に避難指示等が出された場合の対応等も定めています。</p> <p>体制については、出勤できない職員が 30km 圏内に勤務する職員の 2 割いる想定としています。</p> <p>県庁等が所在する地区に避難指示等が出された場合の対応は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 災害対策本部業務等については、住民避難完了後、出雲合同庁舎へ移転し業務を継続します。 (2) 優先すべき通常業務については、避難等指示が出された時点で、県立浜山体育館へ移転し業務を継続します。(屋内退避指示が出されている間は、県庁等で屋内退避を継続) <p>また、各業務に従事する職員が円滑に業務を実施できるように、以下の取り組みを行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 多くの職員に従事する可能性のある避難退域時検査業務については、職員に研修を行い、避難退域時検査ができる体制を整えています。 (2) 国主催の原子力災害対策要員研修等へ参加しており、特に、モニタリング業務に従事することとなる職員の化学職については、専門的な知識が必要になることから、計画的に研修を実施するなど人材育成を図っています。 (3) 原子力安全対策課では、防災業務に従事する職員が発電所トラブル等の危機管理に迅速かつ適切に対応できるように危機管理手順書を策定し、訓練を行い、いつでも対応できる体制を整えています。 <p>【別添資料⑥】 島根県原子力災害業務継続計画の概要</p> |

島根県原子力災害業務継続計画の概要

1. 策定年月

平成 29 年 10 月 10 日

2. 主な内容

(1) 原子力災害時に県が実施すべき業務及び段階ごとの動員体制

例：最大動員時（O I L 2 段階）（令和 2 年 4 月 1 日現在）

県職員数 3,660 人（警察、県立学校は除く）

出勤困難職員数 532 人（30km 圏内の職員の約 2 割が出勤困難と想定）

出勤可能職員数 3,128 人（1 日当たり人数）

| 業務名 | 業務内容 | 動員数 |
|--------|-------------------------|---------|
| 応急業務 | 各所属で実施する災害対策本部業務 | 795 人 |
| 優先通常業務 | 中断すると住民の生活等に重大な影響を及ぼす業務 | 937 人 |
| 特定業務 | 多数を動員して実施する避難退域時検査業務等 | 1,398 人 |
| 計 | | 3,128 人 |

(2) 県庁等が所在する地区に避難等指示が出された場合の対応

- ① 応急業務については、住民避難完了後、出雲合同庁舎へ移転し業務を継続
- ② 優先通常業務については、避難等指示が出された時点で、県立浜山体育館へ移転し業務を継続（屋内退避指示が出されている間は、県庁等で屋内退避を継続）

(3) 災害対策本部事務局の機能・体制

避難先との連絡調整や車両の確保等、広域避難に係る業務は密接な連携が必要なことから事務局で一括して実施することとし、併せて、職員も事務局へ集約

(4) 研修等の実施

避難退域時検査業務等を円滑に実施するため、全庁職員を対象とした研修を計画的に実施するほか、経験が必要な業務に従事する職員の人材登録制度を創設

| 項目 | 〈6〉 原子力災害時の資機材はどのように整備を行っているのか |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 島根県の考え | <p>島根県では、平成 29 年 12 月に「島根県原子力防災資機材整備・管理計画」を策定しています。</p> <p>業務ごとの整備水準を揃え、防災業務従事者の安全確保にかかる資機材などは共通の考え方のもと計画的に整備し、整備された資機材については、緊急時に確実に資機材を配備できる保管場所を方角別に数ヶ所確保し、機器の校正等を行うなど適切に管理しています。</p> <p>現在の資機材の整備状況としては別添のとおりです。</p> <p>【資機材整備状況の具体例】</p> <p>特定業務（避難退域時検査等業務）</p> <p>(1) 計画数量に対して整備済のもの (R2.12 現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NaI シンチレーション 42 / 42 台 ・ GM 管式サーベイメータ 163 / 163 台 ・ 電子式個人線量計 160 / 160 本 <p>(2) 計画数量に対して不足するもの (R2.12 現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲート型モニタ 14 / 41 台 ・ 個人防護装備セット (タイベック、防塵マスク等) 640 / 960 セット ・ 誘導棒 187 / 252 本 ・ ビブス各種 940 / 1,410 枚 <p>【別添資料⑦】 原子力災害資機材整備数等一覧</p> <p>なお、整備中など、発災時に不足する資機材については、他地域融通や業者による調達、国に対し物資調達の要請を行うこととしています。</p> <p>また、発災時に業務従事者が円滑に使用できるよう、原子力防災基礎研修や防災業務関係者研修、避難退域時検査要員向け研修などにより、タイベック等の防護装備の脱着や放射線測定器 (サーベイメータ、ゲート型モニタ等) の測定方法の習得等、平素から手順を確認することとしています。</p> |

島根県原子力防災資機材整備・管理計画 付属資料

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分）

(R2.12現在)

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 数量 | | 他地域等 調達 | 今後整備 | 耐用年数目安・消 費期限 (校正期限) (年) | 管理者 | 保管場所 | 備考 |
|-------------------|---------------------|--------|-------|------------|-------|----------------------------------|----------|-------------------|---------------------------|
| | | 必要数 | 整備済 | | | | | | |
| 緊急時モニタリング業務 | | | | | | | | | |
| 島根県モニタリング本部等 | | | | | | | | | |
| 監視グループ | 携帯型衛星回線電話 | 1台 | 1 | | 0 | 10 | 原子力安全対策課 | 原子力環境C | イリジウム衛星携帯電話 |
| | IP電話 | 11台 | 11 | | 0 | 6 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 情報共有システムWebカメラ | 5台 | 5 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | ホワイトボード | 2台 | 2 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | UFZポスト及び防護措置の単位表示地図 | 1枚 | 1 | | 0 | 10 | 〃 | 原子力環境C | |
| EMC（原子力環境センター設置分） | | | | | | | | | |
| 測定分析担当測定・採取班 | 携帯型衛星回線電話 | 5台 | 5 | | 0 | 10 | 〃 | 原子力環境C | イリジウム衛星携帯電話 |
| | 携帯型防災行政無線機 | 10機 | 10 | | 0 | 10 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 携帯型情報共有システム端末 | 10台 | 0 | | 10 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | GPS | 10機 | 0 | | 10 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | カメラ | 5個 | 0 | | 5 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| 測定分析担当分析班 | 情報共有システム端末 | 1台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | 監視交付金整備 |
| 線量率測定器 | | | | | | | | | |
| 線量率測定器 | 固定局 | 24機 | 24 | | 0 | 8 | 〃 | 各設置箇所 | 監視交付金整備 |
| | 可搬型モニタリングポスト（固定） | 58機 | 58 | | 0 | 8 | 〃 | 各設置箇所 | 監視交付金整備41台 緊急時交付金整備14台 |
| | 簡易型モニタリングポスト（電子線量計） | 80機 | 80 | | 0 | 8 | 〃 | 各設置箇所 | |
| | 大気モニタ | 23機 | 7 | | 16 | 8 | 〃 | 各設置箇所 | |
| 緊急時モニタリング用資機材 | | | | | | | | | |
| 測定機器等 | モニタリング活動用車両 | 6台 | 6 | | 0 | 15 | 〃 | 原子力環境C | 監視交付金整備3台 緊急時交付金整備3台 |
| | 可搬型モニタリングポスト | 6機 | 6 | | 0 | 8 | 〃 | 原子力環境C | |
| | NaIシンチレーション | 13台 | 13 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| | ZnSシンチレーション | 3台 | 3 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| | 中性子モニター | 1台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| | GM管式サーベイメータ | 14台 | 14 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| | 電離箱サーベイメータ | 13台 | 13 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| | Ge半導体γ線スペクトロメータ | 4台 | 4 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | 監視交付金整備3台 水準交付金整備1台 |
| | 可搬型Ge半導体γ線スペクトロメータ | 1台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| | ローボリウムエアサンプラー | 15台 | 15 | | 0 | 8 | 〃 | 原子力環境C | |
| | ハイボリウムエアサンプラー | 2台 | 2 | | 0 | 8 | 〃 | 原子力環境C | |
| | ダスト用アンダーセンサンプラー | 2台 | 2 | | 0 | 8 | 〃 | 原子力環境C | |
| | in-situGe測定装置 | 1台 | 1 | | 0 | 8 | 〃 | 原子力環境C | 監視交付金整備 |
| | Ge半導体検出器式ダスト・ヨウ素モニタ | 3台 | 3 | | 0 | 8 | 〃 | 固定局 | 監視交付金整備 |
| | NaI半導体検出器式ダストヨウ素モニタ | 3台 | 3 | | 0 | 8 | 〃 | 固定局 | 監視交付金整備3台 |
| | レーザーライダ | 1台 | 1 | | 0 | 8 | 〃 | 固定局 | 監視交付金整備 |
| | 走行サーベイ用サーベイシステム | 7台 | 7 | | 0 | 0 | 〃 | 原子力環境C | |
| 個人防護装備 | 特殊防護服 | 5枚 | 5 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 防護服 | 480枚 | 480 | | 0 | 3 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 防護マスク（全面） | 96枚 | 92 | | 4 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 防護マスク（半面） | 96枚 | 96 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 防護マスク用フィルター | 960個 | 960 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 長靴 | 288足 | 288 | | 0 | 3 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 帽子 | 480個 | 480 | | 0 | 3 | 〃 | 原子力環境C | |
| | オーバーシューズ | 2,400枚 | 2,400 | | 0 | 3 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 綿手袋 | 480枚 | 480 | | 0 | 3 | 〃 | 原子力環境C | |
| | ゴム手袋 | 2,880枚 | 2,880 | | 0 | 3 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 靴下 | 480枚 | 480 | | 0 | 3 | 〃 | 原子力環境C | |
| 電子式個人線量計 | 86台 | 86 | | 0 | 10(2) | 〃 | 原子力環境C | モニタリング要員数40名、予備7台 | |
| 出入者汚染確認 | 体表面モニター | 1台 | 1 | | 0 | 8(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| | ハンドフットクロズモニタ | 2台 | 2 | | 0 | 5(2) | 〃 | 原子力環境C | |
| その他 | プリンター | 1台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | A0対応 |
| | 表示装置 | 1台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | 6面液晶ディスプレイ |
| | パーテーションスタンド | 19本 | 19 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 気象データ表示装置 | 1台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| | トランシーバ | 10台 | 10 | | 0 | 10 | 〃 | 原子力環境C | |
| | 発電機 | 5台 | 5 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |
| 食糧等備蓄 | 食糧 | 1,200食 | 1,200 | | 0 | 2021年4月 | 〃 | 原子力環境C | 10日間分x40名 |
| | 水 | 1,200ℓ | 1,200 | | 0 | 2023年3月 | 〃 | 原子力環境C | 10日間分x40名 |
| | 就寝用具等（仮眠スペース含む） | 20セット | 20 | | 0 | 5 | 〃 | 原子力環境C | |

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分）

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 数量 | | 他地域等 調達 | 今後整備 | 耐用年数目安・消 費期限 (校正期限) (年) | 管理者 | 保管場所 | 備考 |
|----------------------------|-----------------|---------|--------|------------|-------|----------------------------------|-------|-----------|------|
| | | 必要数 | 整備済 | | | | | | |
| 災害対策本部業務 | | | | | | | | | |
| 原子力災害医療業務 | | | | | | | | | |
| 医療従事者等が放射線防護を行うために必要な資機材 | 電子式個人線量計 | 112 台 | 96 | | 16 | 10(2) | 医療政策課 | 病院 | |
| | 電子式個人線量計 | 160 台 | 103 | | 57 | 10(2) | 〃 | 拠点病院 | |
| | タイベックスーツ | 400 着 | 425 | | △ 25 | 3 | 〃 | 病院 | |
| | 防塵マスク | 480 個 | 460 | | 20 | 3 | 〃 | 病院 | |
| | サージカルマスク | 800 個 | 800 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| | ゴム手袋 | 544 双 | 544 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| | 靴カバー | 800 個 | 1,010 | | △ 210 | 3 | 〃 | 病院 | |
| | ディスボ帽子 | 1,600 個 | 1,600 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| | ディスボ手術衣 | 320 着 | 315 | | 5 | 3 | 〃 | 病院 | |
| ゴーグル | 80 個 | 80 | | 0 | 5 | 〃 | 病院 | | |
| フェイスシールド | 160 個 | 160 | | 0 | 5 | 〃 | 病院 | | |
| 処置等を行っている場所の線量評価のために必要な資機材 | NaIシンチ | 28 台 | 26 | | 2 | 10(2) | 〃 | 病院 | |
| | NaIシンチ | 12 台 | 14 | | △ 2 | 10(2) | 〃 | 拠点病院 | |
| | 電離箱式サーベイメータ | 16 台 | 3 | | 13 | 10(2) | 〃 | 病院 | |
| 外部被ばくの線量評価を行うために必要な放射線測定器 | GM管式サーベイメータ | 20 台 | 20 | | 0 | 10(2) | 〃 | 拠点病院 | |
| | ラギッドシンチ | 32 台 | 28 | | 4 | 10(2) | 〃 | 病院 | |
| 内部被ばくの線量評価を行うために必要な放射線測定器 | ホールボディカウンター | 1 台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | スペクトロサーベイメータ | 1 台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | Ge半導体検出器システム | 1 台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 保健環境科学研究所 | |
| | 電子式個人線量計 | 160 台 | 103 | | 57 | 10(2) | 〃 | 拠点病院 | (再掲) |
| | 電子線量計 | 20 台 | 20 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | サイロイドアップテークシステム | 1 台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | ウェルカウンティングシステム | 1 台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | 中性子サーベイメータ | 1 台 | 1 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | ハンドフットクロズモニタ | 2 台 | 2 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | 台車 | 1 台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 県立中央病院 | |
| | 甲状腺モニター | 1 台 | 0 | | 1 | 10(2) | 〃 | 県立中央病院 | |
| | 除染するために必要な資機材 | 除染セット | 16 セット | 16 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 |
| 除染テント | | 2 張 | 1 | | 1 | 15 | 〃 | 防災倉庫 | |
| 除染ベッド | | 1 台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 県立中央病院 | |
| 除染キット | | 5 個 | 5 | | 0 | 5 | 〃 | 県立中央病院 | |
| 掃除機 | | 1 台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 県立中央病院 | |
| ルームヨウ素モニター | | 1 台 | 1 | | 0 | 10 | 〃 | 県立中央病院 | |
| ルームヨウ素モニターガスモニター | | 1 台 | 1 | | 0 | 10 | 〃 | 県立中央病院 | |
| ポータルブル無菌室 | | 1 台 | 0 | | 1 | 5 | 〃 | 県立中央病院 | |
| スミヤル紙 | | 1,600 枚 | 1,600 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| ダストろ紙 | | 1,600 枚 | 1,600 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| 養生用シート(床、壁面用) | | 16 本 | 16 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| 養生用シート(手術台用) | | 16 本 | 16 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| ポリ袋(試料用) | | 800 枚 | 800 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| ポリ袋(廃棄物用) | | 800 枚 | 380 | | 420 | 3 | 〃 | 病院 | |
| テープ | | 48 巻 | 48 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| 管理区域標識 | | 16 枚 | 16 | | 0 | 5 | 〃 | 病院 | |
| フェンス(小) | | 96 枚 | 96 | | 0 | 5 | 〃 | 病院 | |
| バリアボックス(小) | | 32 個 | 32 | | 0 | 5 | 〃 | 病院 | |
| 紙ウエス | | 16 箱 | 16 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | |
| ポリバケツ | 48 個 | 48 | | 0 | 3 | 〃 | 病院 | | |
| 原子力災害医療派遣チームに必要な資機材 | 車両 | 2 台 | 2 | | 0 | 15 | 〃 | 拠点病院 | |
| | タイベックスーツ | 48 着 | 0 | | 48 | 3 | 〃 | 拠点病院 | |
| | 全面防護マスク | 48 個 | 0 | | 48 | 5 | 〃 | 拠点病院 | |
| | ディスボガウン | 48 着 | 0 | | 48 | 3 | 〃 | 拠点病院 | |

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分）

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 数量 | | | 耐用年数目安・消費期限 (校正期限) (年) | 管理者 | 保管場所 | 備考 | |
|-------------------------|---------------------|----------|--------|--------------------|------------------------------|-----------|----------|---------------------------------|----------------------------------------|
| | | 必要数 | 整備済 | 他地域等 調達 今後整備 | | | | | |
| 放射線防護区画管理業務 | | | | | | | | | |
| バックグラウンド測定 | NaIシンチレーション | 4 台 | 4 | | 0 | 10(2) | 原子力安全対策課 | 県庁 | |
| 出入者汚染確認 | GM管式サーベイメータ | 6 台 | 6 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県庁 | |
| 除染 | 簡易除染セット | 4 セット | 0 | | 4 | — | 〃 | 県庁 | |
| | 除染シャワー Tent | 2 張 | 2 | | 0 | 15 | 〃 | 県庁 | |
| 個人防護装備 | 個人防護装備セット | 114 セット | 114 | | 0 | 3 | 〃 | 県庁 | |
| | 電子式個人線量計 | 19 本 | 19 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県庁 | |
| | 積算線量管理用線量計 | 38 本 | 0 | | 38 | — | 〃 | 県庁 | |
| | 安定ヨウ素剤 | 76 錠 | 0 | | 76 | 3 | 〃 | 県庁 | |
| その他屋外で活動する災対本部業務 | | | | | | | | | |
| バックグラウンド測定 | NaIシンチレーション | 10 台 | 10 | | 0 | 10(2) | 原子力安全対策課 | 県庁 | |
| 個人防護装備 | 個人防護装備セット | 100 セット | 100 | | 0 | 3 | 〃 | 県庁 | |
| | 電子式個人線量計 | — | | | — | 10(2) | 〃 | 県庁 屋内で活動する業務を含む | |
| | 積算線量管理用線量計 | — | | | — | — | 〃 | 県庁 屋内で活動する業務を含む | |
| | 安定ヨウ素剤 | — | | | — | 3 | 〃 | 県庁 屋内で活動する業務を含む | |
| 住民避難の支援に必要な資機材 | 携帯型衛星回線電話 | 1 台 | 1 | | 0 | 10 | 消防総務課 | 防災航空隊 イリジウム衛星携帯電話 | |
| | トランシーバ | 10 台 | 10 | | 0 | 10 | 〃 | 防災航空隊 | |
| | 避難支援車両 | 1 台 | 1 | | 0 | 10 | 〃 | 防災航空隊 | |
| | 風速計 | 2 台 | 2 | | 0 | 5 | 〃 | 防災航空隊 | |
| | 資機材倉庫 | 1 式 | 1 | | 0 | 15 | 〃 | 防災航空隊 | |
| | 液晶プロジェクタ | 1 台 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 防災航空隊 | |
| | 防護区画写真パネル | 4 枚 | 4 | | 0 | 10 | 原子力安全対策課 | OFC | |
| | ヘリスポット着用陸支援機材 | 1 式 | 1 | | 0 | 5 | 消防総務課 | 消防学校 | |
| 屋内のみで活動する災対策本部業務 | | | | | | | | | |
| バックグラウンド測定 | NaIシンチレーション | 4 台 | 4 | | 0 | 10(2) | 原子力安全対策課 | 県庁 | |
| 個人防護装備 | 電子式個人線量計 | 376 本 | 376 | | 0 | 10(2) | 〃 | 県庁 | |
| | 積算線量管理用線量計 | 752 本 | 0 | | 752 | — | 〃 | 県庁 | |
| | 安定ヨウ素剤 | 1,504 錠 | 0 | | 1,504 | 3 | 〃 | 県庁 | |
| 食糧等備蓄（特定業務除く災対本部分） | 食糧 | 21,056 食 | 13,510 | | 7,546 | 表示された消費期限 | 〃 | 県庁 | |
| | 折りたたみ式ウォータータンク（10ℓ） | 752 個 | 752 | | 0 | 5 | 〃 | 県庁 | |
| | 就寝用具等（仮眠スペース含む） | 260 セット | 260 | | 0 | 5 | 〃 | 県庁 | |
| 移動式通信機器 | 携帯電話 | 15 台 | 15 | | 0 | 6 | 〃 | 県庁 | |
| | 可搬型衛星携帯電話 | 2 台 | 2 | | 0 | 10 | 〃 | 県庁 ワイドスター II | |
| | 分離型衛星通信システム | 1 式 | 1 | | 0 | 5 | 〃 | 県庁 | |
| 資機材保管棚 | 保管棚 | 1 基 | 1 | | 0 | 15 | 〃 | 県庁 | |
| 特定業務 | | | | | | | | | |
| 避難退域時検査等業務 | | | | | | | | | |
| 検査責任者及び補佐 | NaIシンチレーション | 42 台 | 42 | | 0 | 10(2) | 原子力安全対策課 | 5箇所 会場別内訳別紙 | |
| 車両指定箇所検査チーム | ゲート型モニタ | 41 台 | 14 | | 27 | 7(2) | 〃 | 〃 | |
| 車両確認検査・簡易除染チーム | GM管式サーベイメータ | 70 台 | 70 | | 0 | 10(2) | 〃 | 〃 | |
| | 車両簡易除染セット | 14 セット | 0 | | 14 | — | 〃 | 〃 | |
| 住民指定箇所検査・確認検査・簡易除染チーム | GM管式サーベイメータ | 42 台 | 42 | | 0 | 10(2) | 〃 | 〃 | |
| | 住民簡易除染セット | 32 セット | 0 | | 32 | — | 〃 | 〃 | |
| 交通誘導等チーム | 誘導棒 | 252 本 | 187 | | 65 | 5 | 〃 | 〃 | |
| 検査済交付証チーム | （予め整備する資機材はなし） | — | | | — | — | 〃 | 〃 | |
| 各チーム等共通 | ビブス（赤、総括関係） | 140 枚 | 100 | | 40 | 5 | 〃 | 〃 | |
| | ビブス（青、車両関係） | 430 枚 | 300 | | 130 | 5 | 〃 | 〃 | |
| | ビブス（黄、住民関係） | 224 枚 | 200 | | 24 | 5 | 〃 | 〃 | |
| | ビブス（緑、誘導関係） | 298 枚 | 200 | | 98 | 5 | 〃 | 〃 | |
| | ビブス（ピンク、交付関係） | 318 枚 | 140 | | 178 | 5 | 〃 | 〃 | |
| | トランシーバ | 36 台 | 0 | | 36 | 10 | 〃 | 〃 | 当該資機材が汎用品であること、並びに会場規模等を考慮し、3会場分は自前で整備 |
| 個人防護装備 | GM管式サーベイメータ | 51 台 | 51 | | 0 | 10 | 〃 | 〃 | 想定予定を超える車両流入があった場合等に備えた補助分 |
| | 個人防護装備セット | 960 セット | 640 | | 320 | 3 | 〃 | 〃 | |
| | 電子式個人線量計 | 160 本 | 160 | | 0 | 10(2) | 〃 | 〃 | |
| | 積算線量管理用線量計 | 320 本 | 0 | | 320 | — | 〃 | 〃 | |
| | 安定ヨウ素剤 | 640 錠 | 0 | | 640 | 3 | 〃 | 〃 | |
| 避難先・避難元自治体支援業務 | | | | | | | | | |
| （今後検討） | 簡易ベッド・毛布 | 590 セット | 590 | | 590 | — | 原子力安全対策課 | 5箇所 大田市 計477セット、奥出雲町 計113セット | |

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分）

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 数量 | | | 耐用年数目安・消費期限 (校正期限) (年) | 管理者 | 保管場所 | 備考 |
|------------------|------------|-----------|-------|------------|------------------------------|-------|----------|------|
| | | 必要数 | 整備済 | 他地域等 調達 | | | | |
| 避難車両運転業務 | | | | | | | | |
| 個人防護装備 | 個人防護装備セット | 1,609 セット | 1,000 | | 609 | 3 | 原子力安全対策課 | 5箇所 |
| | 電子式個人線量計 | 737 本 | 140 | | 597 | 10(2) | 〃 | 〃 |
| | 積算線量管理用線量計 | 874 本 | 0 | | 874 | — | 〃 | 〃 |
| | 安定ヨウ素剤 | 1,748 錠 | 0 | | 1,748 | 3 | 〃 | 〃 |
| 物資調達・供給業務 | | | | | | | | |
| | (今後検討) | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | |
| 住民広報 | | | | | | | | |
| 車両 | 広報用車両 | 1 台 | 1 | | 0 | 10 | 原子力安全対策課 | 県庁 |
| 消防学校 | | | | | | | | |
| 教育用機器 | 空気ポンプ | 5 台 | 5 | | 0 | 10 | 消防総務課 | 消防学校 |
| | 空気呼吸器 | 5 台 | 5 | | 0 | 5 | 〃 | 消防学校 |
| | 空気呼吸器用広角面体 | 10 台 | 10 | | 0 | 5 | 〃 | 消防学校 |

避難退域時検査等業務
放射線防護区画管理業務
屋外で活動する災対本部業務
屋内のみで活動する災対本部業務
の主な資機材合計

| | | | | |
|-------------|-----------|-------|---|-------|
| 防護装備セット | 2,783 セット | 1,854 | 0 | 929 |
| 電子式個人線量計 | 1,292 台 | 695 | 0 | 597 |
| 積算線量管理用線量計 | 1,984 台 | 0 | 0 | 1,984 |
| NaIシンチレーション | 60 台 | 60 | 0 | 0 |
| GM管式サーバイメータ | 169 台 | 169 | 0 | 0 |
| 安定ヨウ素剤 | 3,968 錠 | 0 | 0 | 3,968 |

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分以外）

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 整備数 | | | | | | | 備考 | |
|------------------|----------------------|-------|-------|------|------|-----|-----|-----|-------|---|
| | | 松江市 | 本庁 | 鹿島支所 | 島根支所 | 出雲市 | 安来市 | 雲南市 | | 計 |
| 防災活動資機材 | | | | | | | | | | |
| 個人線量計 | アラーム付き付き個人被ばく線量計 | 790 | 730 | 30 | 30 | 150 | 100 | 100 | 1,140 | |
| 防護器具 | 防護服 | 875 | 875 | | | 150 | 100 | 100 | 1,225 | |
| | 防護マスク（全面・半面） | 800 | 800 | | | 150 | 100 | 100 | 1,150 | |
| | フィルター | 950 | 950 | | | 150 | 100 | 100 | 1,300 | |
| | 作業帽 | 220 | 220 | | | | | | 220 | |
| | 作業靴 | 380 | 380 | | | 75 | 50 | 50 | 555 | |
| | 靴カバー | 1,630 | 1,630 | | | 150 | 100 | 100 | 1,980 | |
| | 手袋 | 2,652 | 2,652 | | | 300 | 200 | 200 | 3,352 | |
| | 安全メガネ・ゴーグル | 110 | 110 | | | 60 | | | 170 | |
| サーバイメータ | α線サーバイメータ | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 4 | |
| | ポケットサーバイメータ | 36 | 12 | 12 | 12 | | | | 36 | |
| | シンチレーション式サーバイメータ | 5 | 5 | | | 2 | 2 | 2 | 11 | |
| | ラギットシンチレーション式サーバイメータ | | | | | 3 | 3 | 3 | 9 | |
| 通信機器 | 特定小電力トランシーバ | 675 | 629 | 26 | 20 | | | | 675 | |
| | 車両搭載用無線機 | 2 | 2 | | | | | | 2 | |
| | 携帯用電波中継器 | 8 | 2 | 3 | 3 | | | | 8 | |
| | 可搬型衛星携帯電話 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 8 | |
| | 衛星屋外用設置アンテナ | 2 | 2 | | | | | | 2 | |
| 車両 | 広報車両 | 6 | 2 | 2 | 2 | | | | 6 | |
| | 防災資機材運搬車両 | 1 | 1 | | | | | | 1 | |
| | 弱者搬送車両 | 1 | 1 | | | | | | 1 | |
| | 車椅子緊急避難装置 | 0 | | | | | | 4 | 4 | |
| 戸棚、ロッカー | 保管庫 | 6 | | 3 | 3 | | | | 6 | |
| | 防災倉庫 | 16 | 16 | | | | | | 16 | |
| 情報処理機器 | ノート型パソコン | 3 | 3 | | | 1 | 1 | 1 | 6 | |
| | デスクトップパソコン | 5 | 5 | | | | | | 5 | |
| | プロジェクター | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 4 | |
| | スクリーン | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 4 | |
| | デジタルビデオカメラ | 1 | 1 | | | | | | 1 | |
| 防災活動支援機材 | 災对本部用パネル | 2 | | 1 | 1 | | | | 2 | |
| | 防災区画写真パネル | 33 | 32 | | 1 | | | | 33 | |
| | 投光器 | 5 | | 2 | 3 | | | | 5 | |
| | 緊急時浄水装置 | 13 | | 13 | | | | | 13 | |
| | カーナビ | 1 | 1 | | | | | | 1 | |
| | 銀マット | 792 | 792 | | | | | | 792 | |
| | 間仕切り | 60 | 60 | | | | | | 60 | |
| | 台車 | | | | | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| | 養生テープ | 253 | 253 | | | | | | 253 | |
| 原子力災害医療業務 | | | | | | | | | | |
| 戸棚、ロッカー等 | ヨウ素剤保管庫 | 2 | | 1 | 1 | 15 | 3 | | 20 | |

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分以外）

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 整備数 | | | | | 備考 |
|----------------|-------------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----|----|
| | | 松江市 消防本部 | 出雲市 消防本部 | 安来市 消防本部 | 雲南 消防本部 | 計 | |
| 防災活動資機材 | | | | | | | |
| 個人線量計 | アラーム付き個人被ばく線量計 | 142 | 100 | 45 | 50 | 337 | |
| 防護器具 | 特殊防護服 | 46 | | | | 46 | |
| | 全身特殊防護服 | 29 | | | | 29 | |
| | RI防護服 | 24 | | | | 24 | |
| | 防護服 | 455 | 100 | 45 | 50 | 650 | |
| | 特殊防護服気密試験器 | 4 | | | | 4 | |
| | 反射蓄光機能付ベスト | 29 | | | | 29 | |
| | 防護マスク（全面・半面） | 244 | | | | 244 | |
| | 使い捨てマスク | 380 | 100 | 45 | 50 | 575 | |
| | フィルター | 655 | | | | 655 | |
| | 作業帽 | 80 | | | | 80 | |
| | 靴カバー | | 100 | 45 | 50 | 195 | |
| | 雨合羽 | | 100 | 45 | 50 | 195 | |
| | 空気ボンベ(空気呼吸器用シリンダ) | 222 | | | | 222 | |
| | 空気ボンベケース | 115 | | | | 115 | |
| | 空気呼吸器 | 148 | | | | 148 | |
| | 空気呼吸器用広角面体 | 240 | | | | 240 | |
| | 空気呼吸器用広角面体カバー | 91 | | | | 91 | |
| | 空気呼吸器用Oリング | 80 | | | | 80 | |
| | 移動式高圧圧縮機（コンプレッサー） | 2 | | | | 2 | |
| | 手袋 | | 100 | 45 | 50 | 195 | |
| | アケア酸化水生成装置 | 2 | | | | 2 | |
| | 荷物運搬車 | 1 | | | | 1 | |
| | 放射線実習セット | 1 | | | | 1 | |
| | 火点検索装置 | 3 | | | | 3 | |
| | 酢酸ビニールシート | 3 | | | | 3 | |
| | インパルス銃システム | 2 | | | | 2 | |
| | インパルスアタッチメント | 2 | | | | 2 | |
| | インパルス用薬液 | | | | | 0 | |
| | 放水ストップバルブ | 2 | | | | 2 | |
| | 泡消火薬剤 | 0 | | | | 0 | |
| 空気補填用アダプター | 1 | | | | 1 | | |
| 従事者用除染シャワー | 1 | | | | 1 | | |
| 被除染者簡易服セット | 102 | | | | 102 | | |
| 汚染傷病者搬送シート | 19 | | | | 19 | | |
| 個人携帯警報器 | 33 | | | | 33 | | |
| ガス検知器 | 2 | | | | 2 | | |

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分以外）

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 整備数 | | | | | 備考 |
|---------------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|------------|----|--------------|
| | | 松江市 消防本部 | 出雲市 消防本部 | 安来市 消防本部 | 雲南 消防本部 | 計 | |
| | 防水シート | 5 | | | | 5 | |
| | 養生シート | 5 | | | | 5 | |
| | ポリシート | 12 | | | | 12 | |
| | 吸水シート | 5 | | | | 5 | |
| | エプコテープ | 60 | | | | 60 | |
| | 標示テープ | 1 | | | | 1 | |
| | バリアボックス | 8 | | | | 8 | |
| | 強粘着マットフレーム | 6 | | | | 6 | |
| | 強粘着マットシート | 12 | | | | 12 | |
| | 除菌ペーパータオル | 24 | | | | 24 | |
| | 長靴 | 45 | | | | 45 | |
| | アイソチャンバー | 4 | | | | 4 | |
| | アイソチャンバー用フィルター | 24 | | | | 24 | |
| | サーベイメータ | 電離箱式サーベイメータ | 1 | | | | 1 |
| α線サーベイメータ | | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | |
| GM式サーベイメータ | | 5 | | | | 5 | |
| シンレション式サーベイメータ | | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 | |
| ラジエットシンレション式サーベイメータ | | 1 | 2 | 2 | 2 | 7 | |
| 通信機器 | トランシーバ | 10 | | | | 10 | |
| | トランシーバ用タイピンマイク | 75 | | | | 75 | |
| | 特定小電力トランシーバ | 95 | | | | 95 | |
| | トランシーバ用専用電池（バッテリー） | 95 | | | | 95 | |
| | 車両搭載用無線機 | 2 | | | | 2 | |
| | 携帯無線 | | | | | 0 | |
| | 骨伝導装置 | 75 | | | | 75 | |
| | 画像伝送システム | 1 | | | | 1 | |
| | 可搬型衛星携帯電話（ワトスター-II） | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 | |
| 車両 | 広報車両 | 4 | | | | 4 | |
| | 車両移動器具 | 16 | | | | 16 | |
| | 車両移動器具用収納袋 | 8 | | | | 8 | |
| | 防災資機材運搬車両 | 2 | | | | 2 | |
| | 車椅子緊急避難装置 | 20 | 12 | 4 | | 36 | 雲南消防分は雲南市に保管 |
| 戸棚、ロッカー | 保管庫 | 5 | | | | 5 | |
| | 防災倉庫 | 11 | | | | 11 | |
| | 収納ケース | 70 | | | | 70 | |
| | 分別ボックス | 13 | | | | 13 | |
| 情報処理機器 | プロジェクター | 1 | | | | 1 | |
| | 液晶プロジェクタ | 1 | | | | 1 | |

原子力災害資機材整備数等一覧（県業務分以外）

| 業務名・業務内容等 | 資機材の種類 | 整備数 | | | | 計 | 備考 |
|---------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------|----|
| | | 松江市 消防本部 | 出雲市 消防本部 | 安来市 消防本部 | 雲南 消防本部 | | |
| 防災活動支援機材 | デジタルカメラ | 4 | | | | 4 | |
| | デジタルビデオカメラ | 1 | | | | 1 | |
| | 現場用指揮機 | 1 | | | | 1 | |
| | バーブライト | 81 | | | | 81 | |
| | セーフティコーン | 26 | | | | 26 | |
| | メッシュ担架 | 4 | | | | 4 | |
| | 非常用ライト | 20 | | | | 20 | |
| | 投光器 | 3 | | | | 3 | |
| | エアータtent | 5 | | | | 5 | |
| | 携帯拡声器 | 10 | | | | 10 | |
| | スリングロープ | 16 | | | | 16 | |
| | 発電機 | 2 | | | | 2 | |
| | 仮眠用ベッド | 28 | | | | 28 | |
| | 飲料水 | 1,526 | | | | 1,526 | |
| | 使い捨て下着 | 48 | | | | 48 | |
| | 生理用品 | 1 | | | | 1 | |
| | 簡易トイレ | 3,900 | | | | 3,900 | |
| | 台車 | 1 | | | | 1 | |
| | エアマット | 109 | | | | 109 | |
| | フリース毛布 | 109 | | | | 109 | |
| クイックプライバシーシート | 4 | | | | 4 | | |

(2) その他

| 項目 | <7> モニタリングポストは平常時から設置され、測定できるようになっているか |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 島根県の考え | <p>島根県においては、島根原子力発電所を中心とする概ね半径30km 圏内に 162 か所のモニタリングポストを設置し、平常時から放射線の状況を測定しています。同ポストは、5km 四方に 1 か所以上となるよう設置しており、更に原子力災害等が発生した場合に防護措置等を行う地域に対してはそれぞれ 1 か所以上を設置し、運用しています。</p> <p>また、緊急時においては、</p> <p>施設敷地緊急事態に進展する可能性があると判断した場合には、島根県は県モニタリング本部を設置し、島根県緊急時モニタリング計画に基づいてモニタリングの体制を強化し、防護措置の実施の判断等のため、緊急時モニタリングを行うこととなっています。</p> <p>施設敷地緊急事態以上に事態が進展した場合には、国が緊急時モニタリングセンターを設置し、緊急時モニタリング計画に基づく緊急時モニタリングを行うこととなっています。</p> <p>緊急時モニタリングにおいては、既設のモニタリングポストの他、可搬型モニタリングポスト、モニタリング車等が使用され、周辺地域の放射線の状況を詳細に測定します。</p> |

| 項目 | <p>＜8＞ 緊急時の放射線の状況はどのようにして知ることができるのか</p> |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>島根県の考え</p> | <p>島根原子力発電所を中心とする概ね半径 30km 圏内の 162 か所のモニタリングポストのうち、主に島根原子力発電所周辺の 24 か所については、平常時からその測定結果を県のHP「島根県 環境放射線データ リアルタイム表示」にて公表しています。</p> <p>また、一部のモニタリングポスト（原子力発電所周辺）の測定結果については、原子力規制庁のHPにも公開されています。</p> <p>緊急時においては、</p> <p>施設敷地緊急事態に進展する可能性があると判断した場合には、県は測定結果等をHP等で速やかに公表し、報道発表することとしています。</p> <p>施設敷地緊急事態以降は、国がHP等で公表し、報道発表することとしており、県もまたその情報の共有を受け、県のHP等で公表します。</p> <p>なお、原子力規制庁は緊急時にリアルタイムで測定結果を公表するポータルサイトを準備しています。</p> <p>県としては、これらモニタリングに関する情報については、引き続き種々の機会を捉えた広報活動等を通じて地域住民の皆様の理解促進に努めてまいります。</p> |

| 項目 | <p>＜9＞ 地震など起きたときにはモニタリングポストが動かないのではないか</p> |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>島根県の考え</p> | <p>国から示された方針に従い、モニタリングポストの耐震化を図るとともに、電源及び通信の多重化など冗長性を持たせることにより、地震などが発生した場合においてもモニタリングポストが継続して機能するよう整備を進めています。</p> <p>平成 30 年北海道胆振東部地震の例では、停電により泊原子力発電所敷地外のモニタリングポスト（北海道が設置）が一時的に測定出来なくなりました。また、この事例では地震発生の翌日には商用電源が復旧したため顕在化しませんでした。また、停電が長期化し携帯無線通信の基地局の電源が確保されなければ、データ伝送が途絶するおそれもありました。</p> <p>島根県では、まず平時から放射線の状況を測定しその結果を公表している「固定局」24 局については、電源及び通信の多重化、耐震化は実施済みです。</p> <p>また、緊急時に測定を行うモニタリングポスト 138 基のうち 125 基については、令和 2 年度に更新（簡易型電子式線量計）を行うとともに、併せて電源及び通信の多重化、耐震化を実施中です。</p> <p>残りの 13 基についても令和 4 年度までにモニタリングの電子式線量計とともに大気モニタを整備する予定であり、これに併せて電源及び通信の多重化、耐震化を実施します。</p> |